

関西大学独逸文学会記録

(2017年1月～12月)

2017年度総会および第110回研究発表会

日時：2017年11月18日（土）13時00分～17時30分

場所：関西大学（千里山）第1学舎5号館 E403教室

○研究発表会

【ゼミ発表】

(学部3、4年生によるもの。司会は本学教授・佐藤裕子)

1. 山口稜

シンティ・ロマの歴史と習俗

2. 福元陽奈子

マイセン磁器について

3. 小西優貴

交差する言語とアイデンティティ——ドイツにおけるドイツ語
とトルコ語のコード・スイッチング——

【ワークショップ報告】

齊藤公輔（中京大学准教授）

„DACHL“の『いま』とドイツ語の可能性

司会 佐藤裕子（本学教授）

【シンポジウム】

ドイツ語と聖書——さまざまな観点からのアプローチ

(1) 芝田豊彦（本学教授）

ヘブル語聖書と種々のドイツ語訳聖書

(2) 永沼琴子（本学大学院博士前期在学）

句読点に関する一考察

——Luther 聖書（1545）と Piscator 聖書（1606）の比較——

- (3) 工藤康弘（本学教授）
欽定英訳聖書（1611）におけるドイツ語の特徴
司会：工藤康弘（本学教授）

○総会

- 1) 会長挨拶
- 2) 編集報告
- 3) 会計報告